

「動物遺伝育種学研究」ミニレビュー執筆手引き

- 1) 投稿論文は動物（家畜、家禽、実験動物、魚類など）の遺伝一般に関わるもので、本誌に掲載の価値のある内容を持ち、本手引きに従ったものでなければならない。
- 2) 本誌に掲載するミニレビュー（あるいは総説、解説）は編集委員会が依頼するものとするが、一般の寄稿も歓迎する。ただし、掲載の適否は編集委員会が判断する。
- 3) ミニレビュー掲載は編集委員会が査読したあと決定される。したがって、原稿を返却したり、訂正を求めたりする事がある。
- 4) 本誌に掲載された論文の著作権は日本動物遺伝育種学会に帰属する。
- 5) ミニレビューは英文または和文とし、別に定める手引き（項目 11）にしたがって作成する。
- 6) ミニレビューは刷りあがりページの制限はないが、6～10 ページ程度を目安とする。
〔英文では 700 語、和文では 2500 字が刷り上がり 1 ページに相当する〕
- 7) 論文の掲載費用
別刷り 100 部を含み基本的に無料とするが、印刷について特別の指定のあるものは、その費用を著者負担とする場合がある。
- 8) 別刷りに付いては、基本単位を 100 部とし、100 部を越える場合にはその実費は著者負担とする。
- 9) 校正について
著者による校正は 1 回とする。校正の際、字句の追加、削除、または文章の移動は許されない。著者校は指定された期日までに返送しなければならない。
- 10) 編集・出版は可能な限り、電子情報により行うようにし、経費の節減を図る。
- 11) 原稿の作成の手引き
ミニレビュー投稿論文は和文または英文とし、次の規定に従って書く。
 - (1) 和文の場合：
ミニレビューの構成は、第一頁目に日本語で「表題」、「著者名」（複数著者で所属が異なるときは各著者名の最後に右肩に数字を付す）、「所属機関名」（複数著者の所属が異なるときは所属機関名のはじめに左肩に数字を付す）、「その所在地」（所属機関に準ずる）、連絡者（この部分は脚注となる）：氏名、所属、〒番号、住所、(e-mail アドレス) を表記する。続いて英語で、「表題」、「著者名」、「所属機関名」と「その所在地」を表記する（複数著者、複数機関の区別は日本語表記と同様に行う）。次いで、ランニングタイトル（日本語で 20 字以内）を表記する。第二頁目以降は、本文〔謝辞〕、文献の順とする。要約とキーワードは入れない。
 - (2) 英文の場合：
ミニレビューの構成は、第一頁目に英語で「表題」、「著者名」（複数著者で所属が異なるときは各著者名の最後に右肩数字を付す）、「所属機関名」（複数著者の所属が異なるときは所属機関名のはじめに左肩数字を付す）、「その所在地」（所属機関に準ずる）、連絡者（この部分は脚注となる）：氏名、所属、〒番号、住所、(e-mail アドレス) を表記する。次いで、ランニングタイトル（英語で語間スペースを含め 40 字以内）を表記する。第二頁目以降は、本文〔謝辞〕、文献の順とする。続いて日本語で、「表題」、「著者名」、「所属機関名」と「その所在地」を表記する（複数著者、複数機関の区別は日本語表記と同様に行う）。要約とキーワードは入れない。
- (3) 投稿
投稿は、電子メールによる。
原稿はパーソナル・コンピュータを用い、Microsoft Word 等により作成する。査読および編集・出版を可能な限り電子情報により行うため、編集委員長に電子メール・添付ファイルで送付する。ファイルは著者が保管し、編集委員会の指示に従って修正し、受理が決定したものについて、そのファイルを編集委員長の指示にしたがい印刷担当部署へ電子メール・添付ファイルで送付する。なお、郵送による投稿はこれを受け付けない。
- (4) 和文論文は A4 判の用紙に 35 字×25 行の横書きとする。その際、現代かな使いと常用漢字を用いる。数字は総て、算用数字を用いる。また、諸単位の略号は原則として SI 単位を用いる。
- (5) 英文論文は A4 判の用紙に上下、左右とも約 2・5cm の余白を残し、12 ポイント/ダブルスペースでタイプする。1 ページ当たり 26 行とする。英文は十分推敲し、かつ科学論文作成に造詣の深いネイティブ・スピーカーの校閲を受けたものが望ましい。
- (6) 引用文献リストは次ぎの手順により作成する。
 - a. 文献の引用は著者名〔全員〕、発行年、表題、雑誌名、巻、最初一最終ページの順とする。
Drori D, Loosli JK. 1959. Influence of filtration on the digestibility of feeds by steers. Journal of

Animal Science, 18:206–210.

佐々木清綱・松本久喜・西田周作・茂木一重. 1950. 牛の血液型に関する研究. 日本畜産学会報, 27: 73–76.

- b. 単行本の記載は著者名、発行年、書名、版、引用ページ、出版社、発行地の順とする。分担執筆の場合は、書名の後に“…の項執筆”と書き、編集または監修者の名前を入れる。

Nalbandov AV. 1963. Advances in Neuroendocrinology. 2nd ed. 156–187. University of Illinois Press. Urbana, IL.

Folly SJ, Malpress FH. 1948. Hormonal control of mammary growth. In: The Hormones Vol. 1. (Pincuss G, Thimann KV eds.) 695–743. Academic Press. New York.

諏訪良夫. 1977. 定量形態学. 第1版. 12–23. 岩波書店. 東京.

- c. 文献リストは、筆頭著者のアルファベット順に整理する。同一著者の複数の文献の場合は発表年順に整理し、1992a、1992b、1992c の様に年の後にアルファベットを付け整理する。
- d. 本文中には文献を引用した個所の直後に（著者名と年号）をカッコ付きで挿入する。本文中に著者名を引用する時は2名までは連記し、3名以上では英文では“*et al.*”を、和文では“ら”と略記し、直後に年号を括弧付きで挿入する。

例 英文：

---(Nalbandov 1963), ----(Smith *et al.* 1950; Drori & Loosli 1958).

Nalbandov (1963) Drori and Loosli (1958), Smith *et al.* (1950).

和文：

--と報告した(Nalbandov 1963). ----と報告している(Smith ら 1950; Drori と Loosli 1958).

Nalbandov (1963)は---、 Drori と Loosli (1958)は---, Smith ら (1950)は---

- e. 雑誌名は略さない。

- f. 文献の記載には特に注意を払い、正確を期すこと。

(7) 図および表について

- a. 図および表はそのまま写真製版できるようにするとともに、本文中に図表の挿入場所を指示する。
- b. 図および表の説明はすべて和文では和文（または英文）、英文では英文とする。マイクロソフトワードを用いて表を作成できるが、特殊な飾りは用いない。また、パワーポイントを用いて表を作成しないこと。

(8) ミニレビュー原稿の送付先

原稿は編集委員長に電子メール・添付ファイルで送付する。

2004年5月28日編集委員会作成

2005年5月28日改正・施行